

前回のあらすじ

前回はJBL D123が収まったエンクロージャに、トゥイーターJBL 2405を内蔵すべく、岸氏製作の木製のホーンと組み合わせた。ホーンの長さを2パターン作り、最終的にトゥイーターはパツフル面より18cm奥に収まるものに決定した。さて邪道スピーカーの形状はほぼ決定した。今回は、パツフル板の素材を検討し音のチューニングを攻める。

パツフルの素材を検討

岸：邪道スピーカーのパツフルは交換できるようにしています。現状はMDFですが今日は4種類作ってみました。自作スピーカーでよく使われる、パーティクルボード、ラワン合板、フィンランドパーティクル合板、そしてメープルの無垢材の5種類で聴き比べ



前回はトゥイーターにホーンをつけ、エンクロージャ内部に納めた。(トゥイーターはパツフルより18cm奥の位置)

てみましょう。

吉野：なんとなくイメージはあるけど実際に聴き比べたことはないの、楽しみです。岸：無垢材が本当にいいの、確かめてみたいですね。もし良くなかったら、この連載は終了ですね(笑)。

吉野：実際どうなんですかね。合板やMDFなどは細かい木が接着されているわけですが、無垢材は接着材のない塊なわけ、音は当然響くでしょうね。これがいい方向にいくかは正直疑問です。「響き」というのは、固有のクセが鳴るといってもありませぬ。その点、合板やMDFなどはクセが無く、ユニットからの音をストレートに楽しめるんじゃないでしょうか？それに、無垢材は時間が経つと反ったり振じれたりして、安定しないですよ？無垢材スピーカーに対しては、正直ネガティブな印象もあります。

岸：ウチが取り扱う無垢材に関しては不具合が出るようなねじれや反りはありません。きちんと管理されて、丁寧に乾燥させられた無垢材はそう簡単には反らないです。それに楽器では合板やMDFは使わないですよ？楽器の音は、無垢材の方が近いかと思います。

吉野：なるほど。まあ実際に聴いてみましょう。その前に、それぞれの重さを測ってみましょう。比重が重い木の方がいいというイメージもあるので。

秤での計測結果

MDFは1.8kg、パーティクルボードは2.15kg、ラワン合板は2.1kg、フィン

ランドパーティクル合板は1.9kg、メープルは1.7kg

吉野：パーティクルが一番重いのか。これが音に影響するの。ではMDFを基準に、パーティクルボードを聴いてみましょう。試聴曲は『ダグ・サム・アンド・バンド』から『Is Anybody Goin' to San Antonio』。この曲の楽しげな雰囲気が出るかが聴きどころです。

①パーティクルボード

岸：トゥイーターとフルレンジのバランスが良くなって聴きやすくなった。良くも悪くも特徴はない感じかな。

吉野：中域がしっかりした明るい音の印象です。MDFよりいい感じに音楽が楽しめます。若干低域がぼけた感じもあるかな。JBLのスピーカーでもパーティクルは多いので相性がいいのかもしれないね。

岸：パーティクルは表面が固いので、それが効果的だったのかも。耳に馴染みやすい音だね。次は、これも定番のラワンいってみましょう。

②ラワン合板

岸：ポリリウムというか音圧が上がったね。トゥイーターとのつながりがより自然になった。色んな音が聞こえてきて、ハイファイな感じがしました。瞬発力あるね。

吉野：情報をきっちり出してくれる折り目正しい音って感じですね。マジメな優等生的な音。ただパーティクルの方が、音楽としての楽しみ、ノリみたいなのがあった。

連載 新感覚オーディオクラフト

俺流スピーカー！

邪道を往く

第5回 木材による音の違い、良い響きとは？

アクロージュファニチャー 岸邦明 × ステレオ編集部 吉野

アクロージュファニチャー <http://www.acroge-furniture.com/>

ラワンは退屈な音だった、もっと弾んではしい。

岸：地味な音だよ。次は高級材のフィンランドパーティ。これは結構高かったです(笑)。

③フィンランドパーティクル合板

岸：さらに全体に良くなってね。ラワンよりもっと細かい音が聞こえる。そして残響の濁りみたいなものもなく、キレイにすーっと消えていく。

吉野：音はクリアで明るく硬質感がある。スピード感もあって、総じてラワンより上のハイファイな材料というのは理解できません。でも結局延長上にあるというか。そもそも邪道スピーカーでは、レンジが狭い、味重視のユニットをチョイスしてるので、そこを求めてないというか、この方向性では限界を感じますね。情報量はいから、もっと楽器全体がグルーヴしてほしい。そういう意味で、今のところ一番いいのはパーティクル。でも、ベストではない。さて、いよいよ次は、大本命のメープル無垢です。ここを打破できるのか？

岸：緊張します…(ゴクリ)。

④メープル無垢材

吉野：おめでとございませぬ。岸さん！ダンツツでいいじゃないですか！音が粘るし、色気もあるし、音がストレスなく交じり合っ、生き活きてますよ。つい聴き入ってしまいますね。

岸：ふう、よかったです。やっと楽しくなってきたよ。今日は何も収穫がないかと思っ



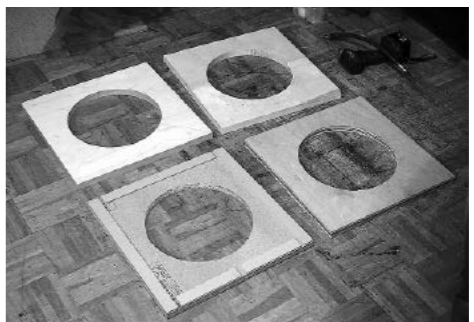
無垢メープルが果たして本当にいいのか、終始不安がる岸さん

パツフル板 重量の違い

MDF	1.8kg
パーティクルボード	2.15kg
ラワン合板	2.1kg
フィンランドパーティクル合板	1.9kg
メープル無垢材	1.7kg



それぞれのパツフル板の重量を計測



交換用のパツフルを4種類用意
パーティクルボード(左手前)、ラワン合板(右手前)、フィンランドパーティクル合板(左奥)、メープル無垢材(右奥)

SPクラフトマスターの辛口コメント 今回の実験はベースが余り癖のない無機質なMDFだったのでパツフルの素材のテストが活きてきた。楽器も無塗装だと酷い音になるように塗装や仕上げで音は変わる。パツフル材の潜在的なサウンドの比較として考えると大変面白い聴き比べだったようだ。エンクロージャ本体が無垢材になった時、今回の結果とどのように変わってくるのか？そして塗装、チューニングとこれが大変な作業となる。